

総務、産業、建設常任委員会記録

招 集 年 月 日	令和4年4月4日（水）
招 集 の 場 所	議員控室
開 会	午前9時38分
出 席 者	委員長 山岸 三男 副委員長 佐野 善弘 委員 赤坂 芳則 委員 藤田 洋一 委員 櫻井 功紀 委員 前原 吉宏 議長 鈴木 宏通
欠 席 者	
職務のため出席 した者の職氏名	議会事務局主事 佐藤理子
協 議 事 項	・今後の進め方について
そ の 他	
閉 会	午前11時07分

2号様式 協議の経過

山岸委員長	皆さん、改めておはようございます。早いもので今日は4月4日でございます。新年度が始まり、総務、産業、建設常任委員会初日に遅刻をし、大変申し訳ございません。 それではですね、会議を進めていきたいと思います。今日は委員6名全員揃っておりますので、会議は成立しております。特に議長が参加しておりますのでよろしくお願いしたいと思います。 それでは最初に、会議事項ということで今後の進め方ということで手元に次第を配付しております。前回ですね、一応、常任委員会の内容としてのテーマといいますか、移住、定住の促進についてということで取り組みをさせていただきました。それについて今後進めていくこととし、今後の進め方について今回の会議事項としておりますので、どういう進め方でいくのか皆さんに協議していただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。 それからですね、今回は今後の進め方を協議し、先進地視察の行き先を6月の初旬に決定するという予定となっております。これは後で良いのですが、今後そのように進めていきたいと思います。 まず最初に、当町の今の現状とか、まちづくり推進課が担当している部分もありますので、その辺の部分で確認作業と言いますか、そのようにするのか、今までの分を検証するのか。検証というか協議を皆様にさせていただきます。今後の進め方ということで、まちづくり推進課に来ていただいて何を聞くかというのを決めますので、その辺を皆様に協議していただきます。よろしくお願いいたします。 では1人ずつ聞きますか。一旦休憩といたしますか。（「休憩で」の声あり）それでは一旦休憩いたします。 では、休憩します。
	休憩 午前9時41分 再開 午前10時15分
山岸委員長	再開いたします。 それでは今後の取り組みとして、まず1点目はまちづくり推進課との意見交換と言いますか、それが一つ。 それから、その前に何年か前に総務、産業、建設常任委員会の研究テーマとして同じテーマを取り組んでおります。それらの報告書をもう一度皆さんで確認し合うという作業が二つ目。 3つ目が近隣市町村の先進地の研修ということで、東松島市あるいは栗原市のこの二か所を取りあえず挙げてでよろしいですかね。皆様からいただいた意見ですから。それが3点目ですね。
佐野副委員長	いいですか。今、東松島市とか栗原市とか挙げていましたが、そこにまだ絞らないで、いろいろ今度やった中で出てくるんじゃないですか。今はそこに絞らないでスケジュールもあるので、県外なども含めて考えても良いんじゃないですか。

山岸委員長	県外についてはこれからいろいろと調べないといけないので、今は皆さんからいただいた意見の中で大体の方向性として、東松島市とか栗原市が進んでいるんだよということで、それらの資料とかを集めたりしなきゃならない。
佐野副委員長	中身もよく調べて、今後、美里町の政策として参考になるかどうかの確認をしてから視察に行かないと。ただ行っただけ。
山岸委員長	まだ行くとは決めてないです。
佐野副委員長	そのようなまとめ方だった。
山岸委員長	方向性として4点挙げました。 5点目として皆様から出ました、まちづくり推進課が今まで取り組んできた移住、定住の促進事業の3年前くらいまで遡った実績のデータをいただきたいということでしたので、常任委員会の今後の進め方としてそのように進めていくということとします。 先程、佐野副委員長が言ったように近隣市町村だけでなく、県外も先進地事例として調べていただいて、このように進んでいる所があるよとなれば意見を出していただきたい。
櫻井委員	千葉県流山市。行くかどうかは別として。
山岸委員長	知っている範囲で構いませんので。千葉県流山市ね。すぐ調べるのは簡単にできますからね。 赤坂委員、さっき県の資料とかありましたよね。参考資料として事務局にコピーしてもらって、私たちに配付していただけますか。
赤坂委員	先進地も良いが、視察ならば何を目的とするか。何かヒントがあるかもしれないと漠然とした状態で行くのではなくて、美里町の弱いところはここだ、とまちづくり推進課との話し合いで現状を把握する。その中で何が弱いかを把握する。美里町の中でも人口が増えている所、極端に減っている所がある。そういうことの分析を1回してみなければならない。 何に美里町は力を入れなきゃいけないか。現状を見て、政策を何に絞るか。 そういうのを最初にやっていかないと、毎回集まってどうするかでは話にならない。それで、これは現地に行って話を聞いてこうとなってからがスタートでしょう。
山岸委員長	今、赤坂委員が言われたことはごもっともなんですネ。 それで今、私が説明してるのは、最初の取り組みとして5項目挙げました。（「5項目ではないのではないか」「一度整理するべき」の声あり） 1つ目はまちづくり推進課との話し合い。 2つ目が地域おこし協力隊との意見交換会。 3つ目が何年か前に総務、産業、建設常任委員会の同じテーマを研究テーマとして取り組んだので、それらの資料を1回精査してから、赤坂委員が言ったように何が足りないのか、何をもっと取り組むべきなのか皆さんと協議していく。 4つ目が近隣市町村の視察研修として、候補として東松島市と栗原市が

	挙げられました。
櫻井委員	先進地としてそれらの市が挙げられたのであって、それらの市の政策の資料を見て我々が勉強して、それで我が町の政策として合うのは何かを見つけるべき。同じことしたって同じようになるわけではないのだから、我が町独自の政策としてこういうのが合うのでないかと。 そういうように調べて、もし視察に行くのであれば、こういう場合どのようにしたら良いのかという視点で行くべき。 そういう段取りで行けば良いかなと思います。
山岸委員長	そのとおりなんです。今までもやってきましたが、先進地に行く前に資料を用意します。私たちも調べて共通認識を持って行かないと。私たちは何年も経験していますから、事前にそういう準備はしていきます。ただ、名前は挙がりましたが、あくまでも選択肢の中なので。資料を精査した中でここが良いのではないかと、そういった意見も出てくると思います。 3年前に総務、産業、建設常任委員会で行った報告書の精査をするということもします。（「それが3つ目でしょ」の声あり） あとは、先程、櫻井委員が言ったまちづくり推進課の今までの実績もですね。（「それは1つ目の話し合いに入っているのでは」の声あり） 実績の資料を話し合いの時に持って来てもらいましょう。
櫻井委員	移住、定住に係る補助金の実績もお願いします。
佐野副委員長	では、これは1つ目ですね。（「ということは4つだね」の声あり）
赤坂委員	過去の報告書を見ると、今回のテーマもそうだが、大体同じような課題について意見が出されている。報告書が提出されてその後どうなっているか、「(町でやったかどうかの進捗状況をね)」の声あり」進捗状況を確認しないと。「(報告書の資料は前回もらったよね)」の声あり」
前原委員	休憩を入れた方が良いでしょう。
山岸委員長	休憩します。
	休憩 午前10時30分 再開 午前11時41分
山岸委員長	再開します。 一応ですね、4項目について今度の取り組み方としてここに提示させていただきました。まちづくり推進課との打ち合わせなんですが、まちづくり推進課に日程を提示し、調整を図らないといけません。 どうしますか、ここで大体の目安を決めないと前に進めないで。 赤坂委員。
赤坂委員	地域おこし協力隊の4人はそれぞれ分野がある。協力隊に対してこっちが何を期待するのか、最初に整理してからでないとだめだと思うよ。来月から考えるのは順番が逆だからさ。総務、産業、常任委員会では、こういうふうにしたからいろんなアイデアとか発想があれば、ぜひ応援してほしいんだという進め方でないと
山岸委員長	なるほど、そのとおりです。

	佐野副委員長。
佐野副委員長	地域おこし協力隊について、分科会で聞きましたよね。4人のうち3人が町のプロモーションをやり、1人がみさとまちこちゃんの関係ということで。分科会で報告受けましたよね。 だから4人のそれぞれのテーマは決まっているので。
山岸委員長	そうなんです。赤坂委員が心配する部分と、佐野副委員長が言ったように、4人の協力隊はやりたいテーマがそれぞれ決まっております。 その中で私たちが何の話を聞くのか、何を求めるのかは常任委員会の中で質問事項をまとめておくべきというのが佐野さんの意見ですね。 地域おこし協力隊に来てもらう前に担当課のまちづくり推進課に調整をしてもらわないといけません。 一番最初に取り組むのは、まちづくり推進課との話し合いをやるのか、それ以前に資料をお願いしないといけませんね。進め方として良いですか。まちづくり推進課と話し合うとして。 赤坂委員。
赤坂委員	まちづくり推進課だって幅が広いんだから、常任委員会としては何を話として引き出したいか、提案したいのか、もう少し絞り込まないと。 ただ人口の増減と世帯数を聞けば良いなら担当課に行って聞いて来れば済む話だから。 そうではなくて、まちづくり推進課と何を話し合いしたいのかを決めるのが一番最初だと思うので。美里町の現状を知る、人口の問題、世帯の問題、空き家の問題とかこっちがまちづくり推進課に聴き出したい内容の整理をして、次回一番最初に町の現状を知ることから始まるんだろうと思うんでね、それで進めていけば、その次にこういうことだと展開していけると思うので。
山岸委員長	まちづくり推進課には定住促進の事業や空き家対策の奨励金だとかの実績を資料としてお願いする。3年前くらいまでの。皆さまからそのようにご意見いただきました。 それをまちづくり推進課にお願いし、その資料に基づいて、あと町長の施政方針がございます。町長は若者に定住してもらうための政策を新たに考えると答弁しています。それについての基本的な、こういった進め方、内容なのかを訊くということで、今、赤坂委員が言ったとおりなんです。3年くらい前の実績の資料を一緒に提出してもらう。町長の若者に定住してもらうための施策の内容。 赤坂委員が言ったように最初のとっかかりはそこからではないかと思うので、そのような進め方にしようと思ってます。それでよろしいですか。 1回目は。 今、赤坂委員がおっしゃったことはお答えして、皆さんから出た意見をまとめてますので。他にまちづくり推進課や地域おこし協力隊との話し合いで訊きたいことやこういう資料が欲しいという意見がございましたらお願いします。

	櫻井委員。
櫻井委員	今、進め方としては会議で出た意見をずらっと並べて、このように決まったと。そしてまちづくり推進課と地域おこし協力隊と話し合う前に資料をもらって、赤坂委員が言ったように、これとこれを訊きたいんだときちんと言わないとだめだと思うよ。意見として出た4項目もきちんと議事録に残るように言ってさ。それからまちづくり推進課に訊きたいことを具体的に、それが進め方だよ。
山岸委員長	分かりました。他に意見ありませんか。よろしいですか。（「そのとおり進めるべきじゃないですか」「休憩してもらって良いですか」の声あり） はい。では休憩します。
	休憩 午前10時49分 再開 午前10時56分
山岸委員長	再開します。 今まで2時間近く協議してきました。その中で今後の取り組みということで、一応項目が決まりましたので。 1つ目がまちづくり推進課との打ち合わせ。これは事前にまちづくり推進課に3年くらい前からの実績をお願いすると。それを受けて私たちと打ち合わせをすると。これでよろしいですね。 2つ目が地域おこし協力隊との話し合いと言いますか。この4人のうち、佐野副委員長が言ったように、1人はみさとまちこちゃんのこと、3人は町のプロモーションをしたいということで来てます。課はそれぞれ違うんですね。4人集めて話し合いができれば良いですが、まちづくり推進課と調整をしなければならないので。 それで1回目は、まちづくり推進課と実績の精査をしてから地域おこし協力隊の話になると思いますが、それも当然調整が必要ですので。それも一緒にはできないと思うんです。そういう進め方でよろしいですか。（「まだ項目を確認するだけで良いと思います」の声あり） 分かりました。説明しないといけないと思って説明してるんですけど、確認させていただきますね。地域おこし協力隊との話し合いもすると。それから先進地への内容調査と書いてありますけど、これも項目として。一応、案としては東松島市と栗原市と千葉県流山市。これらの資料を事前に取り寄せておくと。こういう項目で進めていきたいと思います。 あとは、過去の常任委員会の取り組みと町長の施政方針がありますので。3年前の提案と進捗状況との確認するという項目。よろしいですか。（「はい」の声あり） では、今後の進め方について協議していただきましたので、おおよその進め方について、皆様に確認していただきましたのでこれでよろしいですね。それでは今後の進め方についてこれで終わりにします。 その他ということで、皆様から何かございますか。お話しいただければと思います
赤坂委員	次回の日程とかは。

山岸委員長	次回の日程について協議させていただきます。常任委員会として日程を提示し、まちづくり推進課に調整を図るという進め方で。 では、常任委員会としていつ頃がよろしいですか。
前原委員	休憩して進めた方が良いと思います。
山岸委員長	休憩します。
	休憩 午前 11 時 01 分 再開 午前 11 時 07 分
山岸委員長	再開します。 それでは次回の総務、産業、建設常任委員会は 4 月 22 日金曜日 9 時半から開会します。以上でございます。 それでは、佐野副委員長。
佐野副委員長	それでは大変ご苦勞様でございました。令和 4 年度早々の常任委員会でもございました。研究テーマとして今後の取り組み方を決めさせていただきました。 大変ご苦勞様でございました。ありがとうございました。
	閉会

会議の経過を記載して相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和4年4月4日

総務、産業、建設常任委員会

委員長